

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

ステロイド治療を行った急性期間質性肺疾患患者に対するリハビリテーションおよび歩数計を装着し自主トレーニングを実施した現状調査

2. 研究の対象患者

当院入院中に、間質性肺疾患(ILD)の該当疾患と診断され、ステロイド治療とリハビリテーション介入および歩数計を装着して過ごされた患者さん

3. 研究の対象期間

2021年2月1日～2024年2月29日

4. 研究の概要

理学療法ガイドライン第2版 呼吸障害理学療法ガイドラインによると、慢性閉塞性肺疾患患者に対しては、安定期や増悪後1ヵ月以内に呼吸リハビリテーションプログラムを行うことは、条件付きで推奨されている。しかし、間質性肺疾患(以下、ILD)患者に対しては慢性安定期に呼吸リハビリテーションプログラムを行うことは条件付きで推奨されているものの、増悪期においても行ってもよいかは提唱されていない。2021年にILDに対するリハビリテーションの効果についてコクランレビューが発表された。その中で使用された文献のうち入院期は1報のみであった。その他の先行研究においても安定期が中心であり、急性期の報告は少ない。また、ステロイド治療を行った患者のみを対象とした急性期の報告および歩数計を使用した報告はわずかである。

そこで、本研究では、ステロイド治療を行った急性期間質性肺疾患患者に対してリハビリテーションおよび歩数計を装着し自主トレーニングを実施した現状調査を目的とした。

5. 研究実施予定期間

2024年5月22日～2024年11月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

[研究対象者背景]: 年齢、性別、身長、体重、BMI、入退院日、診断名、退院時のHOTの使用歴、投与総エネルギー量、投与たんぱく質量、摂取総エネルギー量、摂取たんぱく質量、リハビリテーション開始日、リハビリテーション実施単位数、リハビリテーション実施日数、ステロイドパルス投与状況、ステロイド総投与量、ステロイド投与期間

[血液生化学的検査]: CRP、ALB、KL-6

[その他検査]: 呼吸機能検査

[息切れ評価]: 修正Borgスケール安静時、mMRC

[身体機能評価]: SMI、等尺性膝伸展筋力、等尺性膝伸展筋力体重比(膝伸展筋力の最大値/体重×100)、6MWT

[活動量評価]: 歩数の平均等

[認知機能評価]: Mini-cog (Mini-cognitive assessment instrument)

[栄養状態の評価]: CONUT (Controlling Nutritional Status)

[その他評価]: GAPスコアおよび修正GAPスコア(間質性肺疾患の重症度分類)

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： リハビリテーション科 関 優

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)